

# 一般社団法人戸田市薬剤師会

## 第1回社員総会 議事録

記録日	平成29年6月1日
記録者1	大河内 悠平
記録者2	芹澤 寿晴

日時	平成29年6月1日 14:00~15:00	出席者	染川、野口、武長、佐貫、伊藤、成塚、芹澤、宮下、大河内、鎌田、岡、三島木、山本、金成、宮下文、中川、杉原、鬼塚、梅田、籠宮、永井、オブザーバー参加；学生5名
場所	戸田市文化会館多目的ホールC		

### 議題

1. 開会
2. あいさつ
3. 議題  
会長、副会長及び各理事報告  
各委員会報告  
研修・会議等報告  
その他

### 会議内容

<染川会長を押す声があり、異議なし多数にて議長に選出された>

○会長報告

① 組織図及び理事、監事について説明。宮下監事就任。

### 新組織図及理事

一般社団法人戸田市薬剤師会組織図



## ② 会費改定（値上げ）の件について説明

一般社団法人化でかかる経費等を積算していくとこれくらいの数字になること、他の薬剤師会と比べても妥当な金額であることを説明。通常的一般社団法人は事務所を構える。現状は染川薬局内で事務的な作業を行うこととしている。今後収益として事業が進めばマイナスの改定もあり得る。

### 会費改定の件

平成29年5月31日まで	平成29年6月1日から
<b>会員区分</b> A会員：薬局などの管理薬剤師 B会員：薬局などのその他の薬剤師	<b>会員区分</b> 1. 正会員 A会員：薬局などの管理薬剤師 B会員：薬局などのその他の薬剤師
<b>入会金</b> A会員：85,000円 B会員：なし	2. 賛助会員 本会の事業を賛助するために入会した薬剤師以外の者 3. 名誉会員 本会に功勞のあった者又は学識経験者で理事会の推薦を受け社員総会において承認された者
<b>年会費</b> A会員：15,000円 B会員：なし	<b>入会金</b> 1. 正会員 A会員：800,000円 B会員：0円
*事業年度の途中で入会した場合の入会年度の会費は下記のとおりです。	2. 賛助会員 0円 3. 名誉会員 0円
	<b>年会費</b> 1. 正会員 A会員：60,000円 B会員：6,000円
	2. 賛助会員 0円 3. 名誉会員 0円
	*事業年度の途中で入会した場合の入会年度の会費は下記のとおりです。
	正会員 A会員：5,000円×月数倍 B会員：500円×月数倍

## ③ 川口市内病院の処方箋FAX手数料負担に関する考え方について

戸田市薬剤師会としての対応を理事会で協議、当該薬剤師会宛の文書と戸田市薬剤師会会員薬局向けの文書を作成し、意思表示を行った。当該薬剤師会副会長様より口頭ではあったが、「戸田市薬剤師会会員薬局へはFAXは送らないが、直接薬局に行く旨を丁寧に患者様に説明する。」とのお言葉を頂いた。

平成29年4月28日

処方箋ファックス手数料  
の負担の件1

社団法人 川口薬剤師会 御中

戸田市薬剤師会  
会長 染川智行

「処方箋ファックス手数料の負担」に関する戸田市薬剤師会の見解について

陽春の候、時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

当会会員薬局より、貴会からの川口市内病院の処方箋ファックス手数料の請求への対応について質問があり、理事会にて議案として協議いたしました。平成16年度の日本薬通達及びこれを受けた果菜の見解に基づき協議した結果、会として手数料の負担に協力することは現状では困難であるとの結論が出たため、会員薬局への通達と、貴会へのご連絡を申し上げる次第であります。通達内容を添付いたしますので何卒ご理解いただけますようお願い申し上げます。

残念ながら本件へのご協力については困難との結論となりましたが、隣接支部とし今後とも相互に連携、協力できる体制を構築して参る所存です。今後ともご指導ご鞭撻の程、よろしくお願ひ申し上げます。

## 処方箋ファックス手数料の負担の件2

川口市内病院の処方箋ファックス手数料負担に関する考え方について

標記の件について、当会理事会对して、平成 16 年日医連会長が再議の見解をふまえて協議を行った結果、下記に結論を得ましたのでお知らせいたします。本件結論については当会より川口市医師会に連絡することとなり、会員医局の皆様におかれましてはご理解賜りますようお願い申し上げます。

### 記

1. 本邦、処方箋のファックス手数料の負担は受益者である患者側であり、医局が負担することに疑義がある。(平成 16 年の医連連長及び事務局長の答申)
2. 医局が患者サービスの一環としてファックス送信を準備するものであるが、その手数料は病院側が負担すべきと考えられる。
3. 診療報酬の改定に伴って、ファックスの設置コストが益的であると見られる。現時点でその対応は適切であると見られる。
4. 運営上、先行先の医局が、会員医局や支払いに定むる医局等に限定される場合、患者救済の観点から懸念がある。
5. その他、運営方針によって診療内容や業務に転換する可能性があり、金として事務負担がない中で協力することは困難と考えられる。
6. 会としてではなく個々の事業主への請求であったとしても、事前協議や契約が必要と思われる。これがない中で請求に応じる業務はないと考えられる。

以上を前提として、当会医局においては、川口市医師会への手数料負担する法的根拠はないと考えられる。

以上

## ④ 今後の予定に関して

### 今後の予定

平成 29 年度	事業名
4 月	● 一般社団法人設立準備 定款作成
5 月	● 定例理事会・一般社団法人設立総会 ● 薬学生実務実習 第 1 期 (5/8-7/23) 受入
6 月	● 定例総会・第一回一般社団法人社員総会 ① 平成 28 年度事業報告・収支決算報告 ② 平成 29 年度事業計画・収支予算 ● 一般社団法人戸田市医師会設立 ● 薬毒部研修会 「認知症について」 ● 休日・平日夜間薬局開局準備室設置
7 月	● 定例理事会
8 月	● 平成 30 年度予算案 (戸田市)
9 月	● 定例理事会 ● 薬学生実務実習 第 2 期 (9/4-11/19) 受入
11 月	● 戸田市健康福祉まつり ● 薬毒部研修会 「透析機器について (仮)」 ● 定例理事会
1 月	● 定例理事会 ● 薬学生実務実習 第 3 期 (1/9-3/26) 受入
2 月	● 診療報酬改定関連の説明会等への参加
3 月	● 薬毒部研修 診療報酬改定について ● 定例理事会 平成 30 年度事業計画・収支予算について

- ⑤ 研修・議等報告について、6 つの報告書はすべて染川会長の出席したものであった。なかでも戸田市国民健康保険に係る勉強会では、「運営が市→広域（県）となり、近い将来の保険料の大幅アップになる」ことに言及された。

## 研修・会議等報告 H29.6.1

1. 平成28年度南部医療地域保健医療・地域医療構想協議会 H29.3.17 染川
2. 戸田市国民健康保険に係る勉強会 H29.3.23 染川
3. 蕨・戸田地区保健医療協議会幹事会 H29.5.15 染川
4. 戸田市国民健康保険運営協議会 H29.5.18 染川
5. 平成29年度障害者虐待対応部会会議 H29.5.25 染川
6. 平成29年度南部地域保健医療・地域医療構想協議会 H29.5.26 染川

以上について、全会一致にて承認された。

## ○副会長報告

### 野口副会長より報告

①選挙を経て、正式に埼玉県薬剤師会の代議員になったことを報告。「できるだけ戸田市薬剤師会の会員の声を届けたい。」との意思表示。

②委員会について、染川会長とともに説明。社員総会が年1回となる中で、今後活動の中心は委員会単位になっていくとの事。

## 委員会について

広報委員会	成塚委員長、矢花、細矢、宮下(文)、大竹
学術研修委員会	相良委員長、曳地、籠宮、鬼塚、菅、梅田
会議運営委員会	芹澤委員長、鎌田、宮下(由)、大河内、石橋
総務委員会	伊藤委員長、中川、吉井、小林、岩崎
学校薬剤師委員会	武長委員長、野口、伊藤
三師会実行委員会	芹澤委員長、武長、成塚、野口、芝野、早水
在宅医療委員会	野口委員長、金成、小山田、田中
薬学生実務実習委員会	佐貫委員長、山本、伊藤
保険薬局委員会	伊藤委員長、三島木、松井、小堀、佐貫

以上について、全会一致で承認された。

## ○委員会報告

在宅委員会；金成委員より、スライドを使用して活動報告と今後の取り組みについて報告。

戸田市の会員薬局の中で、まさに在宅の核となる活動を内外に向けて発信していく。さらに、アンケート実施を実施。

## 委員会の活動の目的

### 戸田市薬剤師会在宅委員会

H29年度第1回  
H29年4月19日

会員薬局に  
対して

- ・在宅調剤の受け皿を整えるため、会員薬局への啓蒙活動
- ・会員薬局からの相談受付

他機関に  
対して

- ・医療、介護関連の戸田市行政や他関連機関との連携窓口

市民に  
対して

- ・地域活動として、戸田市民への啓蒙

## 目標とする状態



## 活動の具体案 STEP1



## 今期のスケジュール



### ・勉強会について

開催主旨：在宅業務を行う、また薬局間、関連団体との連携をとるための相談会として行う。

形式：講師を招いての講義形式ではなく座談会形式で行う。

### ・アンケートについて

勉強会を開催するにあたり参考資料とさせていただきます。

**保険委員会**；伊藤理事より委員長就任、戸田中央総合病院を中心に市内病院を含め薬薬連携について主導していく旨、口頭で説明あり。戸田中央総合病院薬剤科とはすでに取り組みつつあることを報告。

**薬学生実務実習委員会**；佐貫委員より、薬学生の実習に伴い在宅やセルフメディケーション実習の協力店舗（イオン北戸田店）に感謝の意を表した。また、会員薬局の皆様には実習生受け入れにぜひとも協力していただきたい。

**広報委員会**；成塚委員より、ホームページの現在の状況と、今後地域にお住まいの方々がアクセスしてもらえるようなものを作成したい、会員の皆様にアップしたい情報（ネタ）を募集。

以上について、全会一致で承認された。

## 決定事項

- 新組織、理事、監事
- 委員会の構成
- 新会員区分、新入会金、新会費
- 会員薬局店舗への川口市内病院からのFAXは原則として送信しない。

## 検討事項

### ○各委員会の今後の活動の充実

保険委員会：戸田中央総合病院を中心とした薬薬連携勉強会の充実化。

薬学生実務実習委員会：学生受け入れ薬局の募集。

広報委員会：ホームページの充実化。